

東京エリア内の大型集合住宅における宅配効率化や人件費削減を実現する配達モデル

12月17日（月）より、『デポ配達』を高島平団地にて開始

場 所： さくら通り商店街内「コープみらい 高島平団地デポ」
（東京都板橋区高島平2丁目26-3-106）

コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井 ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は、12月17日（月）より、東京都板橋区にある高島平団地において、リヤカー付き自転車を使用した団地内専用の『デポ配達』を開始いたします。

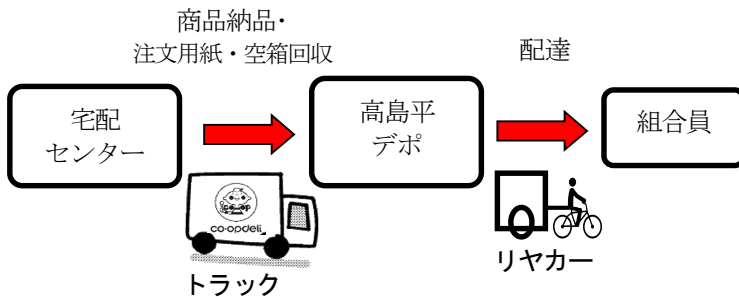
今回の取り組みは、配達コストの削減を目的に実施します。『デポ配達』とは、大型集合住宅の一部にデポ（商品格納拠点）を設置し、リヤカー付き自転車を用いてデポから商品を大型集合住宅の各家庭に配達する取り組みです。トラックでは通ることができない都内の団地内では、途中までトラックで輸送した後に手押し台車に積み替えて配達を行っていました。デポからリヤカーを使用することで、積み替えやトラックでの作業が減り、宅配効率の向上、CO₂の削減*につながります。

*高島平団地を担当するコープデリ志村センターの2017年度自前トラックのCO₂排出量に対して4.3%の削減。

また、高島平団地に居住している方を優先して配達員の募集を行い、担当する職員を固定、週5回配達とすることで住民間のコミュニケーションを深め、組合員の方に満足していただけるサービスを目指します。

なお、17日は9時40分頃から準備を開始し、配達は10時ごろから行う予定です。

コープみらいでは、職員の作業効率向上などの働き方やサービスの向上を図るため、今後も取り組んでまいります。



デポ配達のイメージ



リヤカー付き自転車

「持続可能な開発目標(SDGs)」の取り組み

コープデリ連合会は、事業と活動を通して2015年に国連で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標 (SDGs)」の実現に貢献します。



＜関連するSDGsの主たる目標＞

目標13：気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる

《生活協同組合コープみらい 概要》

【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5
【理 事 長】新井 ちとせ（あらい ちとせ）
【組 合 員 数】345万人（2018年11月20日現在）

【総事業高】3,898億円（2017年度）
【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都
【ホームページ】<http://mirai.coopnet.or.jp/>